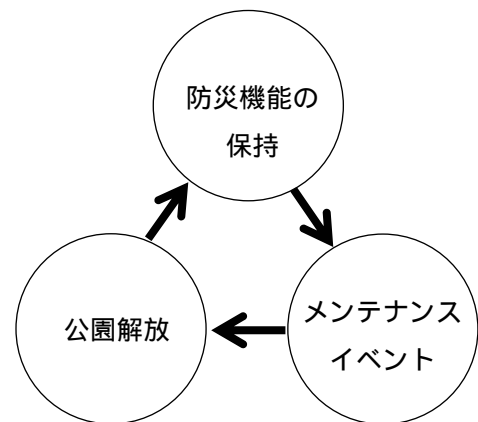


BENCH PROJECT

固定式防災ベンチの設置

被災時にかまどとして使えるベンチや、救命や復旧に必要な道具を収納しておくベンチを設えます。かまどベンチの座面は木材でできており、有事には燃料になります。普段は小さめの二人掛けベンチで恋人どうしを引き寄せる「燃ゆる」ベンチとなります。

構造は、防災ベンチとして機能させる頑丈な作りとしますが、いざという時に機能しない！というようにもよくあります。そのような事態を防ぐには、ベンチのメンテナンスを定期的に行うことが必要であり、BBQ 等を兼ねたメンテナンスイベントを開催するのが良いかもしれません。



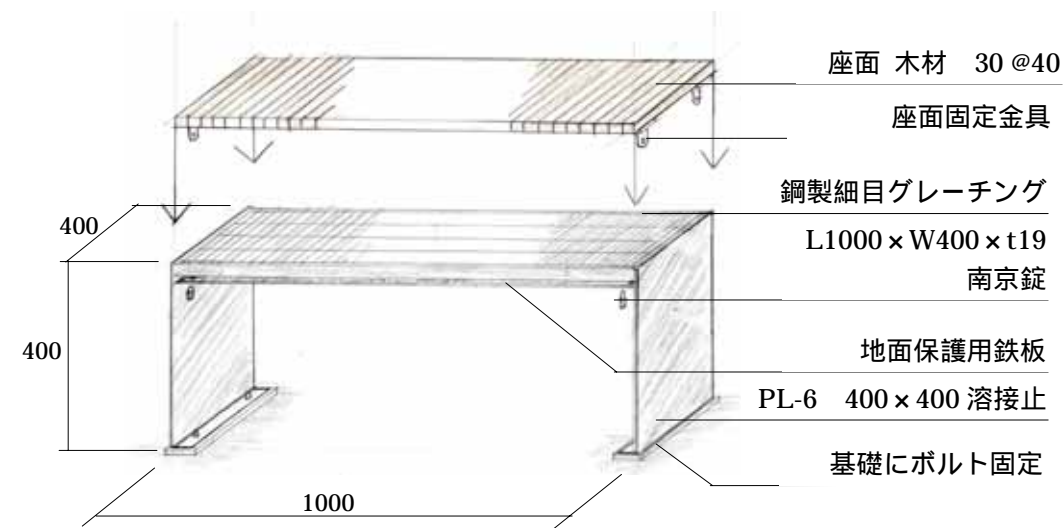
ベンチイメージ



ベンチをかまどに利用するイメージ

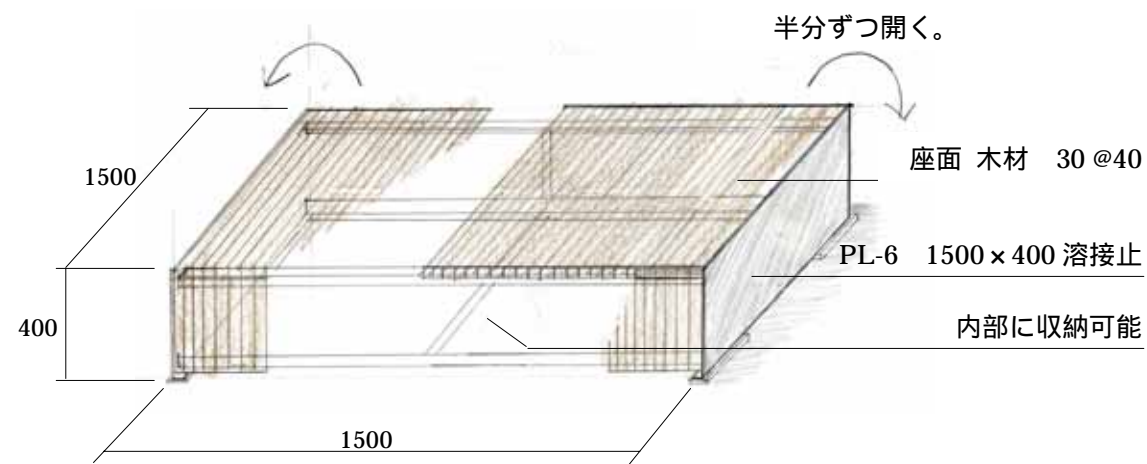


大阪市此花区に分譲マンションにおけるかまどベンチの事例



燃ゆるベンチ

固定ベンチイメージ(かまど)



収納ベンチ

固定ベンチイメージ

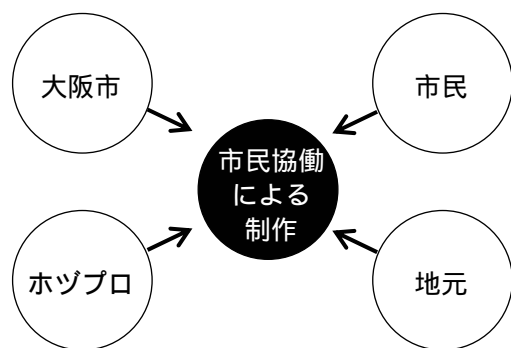
鋼材は亜鉛メッキの上、リン酸塩処理とする。
公園施設業協会加盟会社による制作とする。

BENCH PROJECT

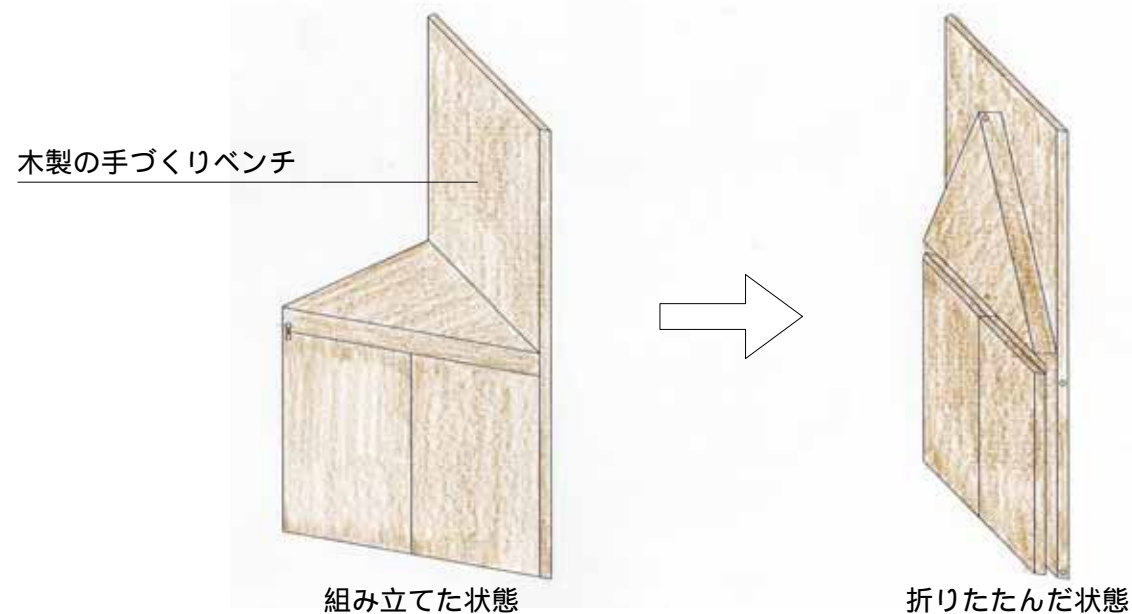
可動式ベンチの開発

地元が施設管理をおこなうセミオープン型の公園という特徴を活かし、三角公園内で使い手が自由に移動できるベンチを開発します。

水辺を眺める、お月見をする、ピクニックをする、イベントを催す、といった様々な活動形態に合わせたベンチ配置が可能。たとえば、木材加工のスキルとツールを備えている製材所(ホツプロ等)と、地元の人がコラボレーションしながら協働制作することもできます。スケッチのような折りたためるベンチであれば、収納も容易になります。



どこでもベンチのある風景 (ニューヨーク・ブライアントパーク)



木製の手づくりベンチ

組み立てた状態

折りたたんだ状態

どこでもベンチ

全体平面イメージ図



ベンチ制作イベント

市民や地元の人々に愛されるベンチをつくるには、その制作過程から市民が関わっていくことが重要です。木材加工の技術を持った人(ホツプロ等)のアドバイスを受けながら、オリジナルのベンチを制作していくイベント等を開催し、楽しみながら「どこでもベンチ」を完成させていきます。

ホツプロとは？

三重県伊賀市で製材業を営む穂積氏の製材所敷地内で進めているプロジェクト。製材所敷地を公園化して欲しいという穂積夫婦の要望に応え、林業と製材と木工をつなげて体験できる場づくりを目指している。多くのボランティアが木材を活用した活動に参加。

